中村眞一議員（議会報ダイジェスト）Vol.6
台風19号特集 第２弾 / 特別号

発行日／令和２年６月20日
発行人／眞和会　会長中村平次
〒389-0802　千曲市内川484－1
TEL(026)275-0671　Email:45basie@gmail.com

台風19号からの復旧・復興計画の策定は

科野の会
代表　中村　眞一

問　台風19号は「令和元年東日本台風」と命名されたが、復旧・復興計画の策定方針は。

答　令和２年１月24日の信濃川水系緊急治水対策会議を経て、同１月31日に緊急治水対策プロジェクトの最終とりまとめが発表された。

この中で３つの対策プロジェクトの柱とし、「河川における対策」は千曲川対策として、河道掘削や堤防整備・強化、遊水地等の対策は国が進める。

「流域における対策」は千曲川支川において、雨水流出抑制、一級河川等の氾濫抑制や迅速な復旧支援の取り組み等を流域の県や市、地域が進める。

「まちづくり、ソフト対策」は減災の取り組みとして、防災教育、防災知識の普及や情報発信の取り組み等を関係機関が連携して進める。この３つの対策を国や流域である県、市の分担が示された中で策定する。

問　市政において、市民の安心・安全を守ることが第一の責務だと思うが、「第二次総合計画・後期基本計画」での取り扱いは。

答　概ね５年間を目標としているが、今後策定する「第二次総合計画・後期基本計画」の計画期間に及ぶので、緊急治水対策プロジェクトで決めた内容を掲げる。

問　「復旧・復興計画の策定」と地域住民との関わりは。

答　地域説明会など市民と直接対話する機会を設けるほか、市民アンケート調査を実施するなど幅広く市民の参画をいただきながら策定する。なお復旧計画は３月末を目途に、復興計画は秋頃までに策定する。

問　内水氾濫を起こした水門、排水樋門等の管理と排水機場の機能アップは。また水門の無い一級河川の浚渫は。

答　管理は国・県・市に分かれているが、市が管理する河川、農業用水路、都市下水路等の排水ポンプ場については、検証した上で解決策を探る。また排水機場の機能については千曲川が満水になる「計画高水位」にならない限り、排水作業は可能である。

今回の内水氾濫は計画排水区域外からの流水が主因と思われる。千曲川の治水を図るプロジェクト対策の確実な実施を強く要望していく。また支流の水門の無い一級河川「佐野川」等の浚渫は県に状況を説明し、実施を要請する。

問　令和元年12月６日の長野県の「気候非常事態宣言」を受け、12月19日の議会最終日に「気候非常事態」に関する決議（案）を私たちが提出し、全員賛成で議決された。それを受け、３月議会初日、２月25日に「千曲市宣言文」を採択し、宣言したが、その推進は。

答　まさに地球温暖化防止と千曲市議会の議決を重く受け止め「気候非常事態宣言」を行った。地球温暖化対策は再生可能エネルギーの導入、省エネルギーの推進、ごみ減量、森林の適正管理等の多分野にわたることから、部局横断的に共通の危機意識を持って、オール千曲で地球温暖化対策に取り組んでいく。

▲若宮八王子地区の水害

中村　眞一

検証　台風19号10月12日 現場との連絡は

問　「民生児童委員」を中心に高齢者、障害者等の要支援者への避難支援はできたのか。

答　要支援者とは高齢者や障害者などのうち、災害が発生した場合に自ら避難することが困難な人をさし、民生児童委員も避難支援者として区・自治会長や地域支援者と共に支援をお願いしている。

10月12日の台風当日は避難誘導、移動の介助等要支援者への適切な対応が不足した点もあったため、研修等で徹底したい。

問　各地域の防災リーダーとして、各区長は各公民館を避難所として開設するなど、要支援者等の誘導は出来たか。

答　区長、自治会長は地域防災リーダーとして防災・減災に向け「自分たちの地域は自分たちで守る」という共助の意識を持ち、地域防災力の向上に取り組んでいただきたい。公民館等の自主避難所の開設は区長、自治会長の判断に委ねられているが、開設・運営に対する知識等の研修が必要であれば、市として支援する。

問　10月12日夕方の避難所の開設・運営実態と問題点は。

答　避難所の開設・運営マニュアルについては、今回の反省点等を検証し改善したい。特に開設時のスムーズな受け入れや担当職員の対応等が課題だと思う。また運営管理者は開設当初は市の職員が主導し、長期化する場合は自治会や避難者へ移行し、避難者自らの避難所自治組織として運営することになる。

▲千曲川の治水対策は

安心・安全で元気な千曲市の実現に向けて！

東日本台風、新型コロナウイルス感染

昨年の東日本台風では千曲市内に大きな被害を及ぼしました。被害にあわれた方々に改めてお見舞い申し上げるとともに、早期の復旧・復興に全力で取り組みます。

また今年になってからの新型コロナウイルス感染では、今まで経験がないほど多くの国民に甚大な被害を及ぼしています。千曲市でも様々な業種の企業をはじめ、学校関係など多くの機関が国の緊急事態宣言を受け、休業や自粛措置を余儀なくされました。その影響は計知れず、今後も続くものと予想されます。一刻も早い終息を心より願っています。

災害では現場主義に徹底します。

私は、この４年間さまざまな課題について、実際に現地に赴き、目で見て、いろいろな人の意見を聞く、「現場主義」を信条として議員活動をしてまいりました。

東日本台風や新型コロナウイルス感染でも、被害にあわれた方々と話をし、何が必要か、何を望んでいるかなど、問題の本質を見極めることに努めました。被災者に寄り添い、援助できることを行政に訴えていくことが私の役割だと思うからです。今後もみんなが安心して住めるまちづくりに全力を尽くします。

ご支援をよろしくお願いします。